

<問題－Ⅳ－（２）：港湾及び空港>

1. 以下で定義される港湾の用語として、正しいものを a～d の中から選びなさい。
「重要港湾のうち、国際海上輸送網の拠点として特に重要なものとして政令で定められた港湾」
 - a. 特別重要港湾
 - b. 国際重要港湾
 - c. 特定重要港湾
 - d. 中枢国際港湾

2. 港湾計画における計画事項として、誤っているものを a～d の中から選びなさい。
 - a. 港湾の能力
 - b. 港湾施設の規模及び配置
 - c. 船舶乗降旅客数
 - d. 大規模地震対策施設

3. 変動作用の組合せとして、正しいものを a～d の中から選びなさい。
 - a. 自重、土圧、温度応力
 - b. 波浪、風、水位（潮位）、貨物・車両等による載荷重
 - c. レベル 1 地震動、レベル 2 地震動
 - d. 津波、高潮

4. 長周期波の定義として、正しいものを a～d の中から選びなさい。
 - a. 周期 20 s ～30 s の成分波で構成される波
 - b. 周期 30 s ～300 s の成分波で構成される波
 - c. 周期 300 s ～400s の成分波で構成される波
 - d. 周期 400 s 以上の成分波で構成される波

5. 「港湾の施設の技術上の基準」との適合性確認対象施設として、誤っているものを a～d の中から選びなさい。
 - a. 外殻施設
 - b. 係留施設（水深－7.5m以上の係留施設）
 - c. 道路及び橋梁
 - d. 水域施設

6. 平成19年に改正された「港湾の施設の技術上の基準・同解説」に関する記述として、誤っているものをa～dの中から選びなさい。
- a. レベル1の信頼性設計法である部分係数法が導入された
 - b. レベル1地震動は、震源特性、伝播経路特性及びサイト特性を考慮して設定する
 - c. ケーソン式岸壁の設計は、地域別震度、地盤種別係数、重要度係数を考慮して設定した照査用震度により行う
 - d. 栈橋の設計は、応答スペクトルを用いた照査用震度により行う
7. 岸壁に共通する性能規定として、誤っているものをa～dの中から選びなさい。
- a. 対象船舶に応じた所要の水深及び長さを有すること
 - b. 潮位の影響、対象船舶の諸元及び岸壁の利用状況に応じた所要の天端高を有すること
 - c. 利用状況に応じた所要の附帯設備を有すること
 - d. 港内静穏度を満足するよう適切に配置されていること
8. 港湾法で水域施設として規定される施設の組合せとして、正しいものをa～dの中から選びなさい。
- a. 航路、運河、泊地
 - b. 運河、泊地、船だまり
 - c. 航路、泊地、船だまり
 - d. 航路、運河、船だまり
9. 重力式係船岸の永続状態における照査項目の組合せとして、正しいものをa～dの中から選びなさい。
- a. 壁体の滑動・転倒、基礎地盤の支持力、円弧すべり
 - b. 壁体の滑動・転倒・根入れ、基礎地盤の支持力、円弧すべり
 - c. 壁体の滑動・回転、基礎地盤の支持力、円弧すべり
 - d. 壁体の滑動・せん断変形・転倒、基礎地盤の支持力、円弧すべり

10. 以下に定義される港湾施設の維持管理レベルとして、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

「高い水準の損傷劣化対策を行うことにより、供用期間中に要求性能が満たされなくなる状態に至らない範囲に損傷劣化を留める」

- a. 維持管理レベル 1
- b. 維持管理レベル 2
- c. 維持管理レベル 3
- d. 維持管理レベル 4

11. 「空港」の定義として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 「飛行場」のなかで「公共用」であるものを「空港」と称する
- b. 「飛行場」のなかで「非公共用」であるものを「空港」と称する
- c. 「飛行場」のなかで「使用者・目的が限定された飛行場」を「空港」と称する
- d. 「飛行場」のなかで「軍用の飛行場」を「空港」と称する

12. ICAO ANNEX14 で勧告している滑走路方位について、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 就航機材に対するウインドカバレッジを 100%以下にしないこと
- b. 就航機材に対するウインドカバレッジを 95%以下にしないこと
- c. 就航機材に対するウインドカバレッジを 90%以下にしないこと
- d. 就航機材に対するウインドカバレッジを 85%以下にしないこと

13. ジェット機のタッチダウン区域における滑走路最大縦断勾配として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 0.6%
- b. 0.8%
- c. 1.0%
- d. 1.2%

14. コード F の航空機が就航する空港（精密進入）の滑走路と平行誘導路との中心線間隔として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 60 m 以上
 - b. 100 m 以上
 - c. 190 m 以上
 - d. 290 m 以上
15. 大型航空機を対象とした空港舗装構造設計における室内 CBR 試験の載荷重の大きさとして、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 50 N
 - b. 100 N
 - c. 150 N
 - d. 200 N
16. 航空機荷重 W' 区域の鉄筋コンクリート構造物の許容応力度の割増しとして、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 鉄筋：1.65 倍、コンクリート：1.65 倍
 - b. 鉄筋：1.65 倍、コンクリート：2.0 倍
 - c. 鉄筋：2.0 倍、コンクリート：1.65 倍
 - d. 鉄筋：2.0 倍、コンクリート：2.0 倍
17. SFT（サブ・フリクション・テスター）の測定速度として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 85 km/h
 - b. 90 km/h
 - c. 95 km/h
 - d. 100 km/h
18. エコエアポートの目標年度として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 空港環境計画策定時から 10 年後
 - b. 空港環境計画策定時から 20 年後
 - c. 空港環境計画策定時から 30 年後
 - d. 空港環境計画策定時から 40 年後

19. 積雪離着陸区域標識の設置位置として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 滑走路端より 10 m の外側に 50 m 間隔に設置
- b. 滑走路端より 10 m の外側に 100 m 間隔に設置
- c. 滑走路端より 30 m の外側に 50 m 間隔に設置
- d. 滑走路端より 30 m の外側に 100 m 間隔に設置

20. 陸上ヘリポートの誘導路縁と固定障害物との間隔に関する設置基準として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 使用予定航空機の投影面の幅から降着装置の幅を減じた値以上
- b. 使用予定航空機の投影面の幅から降着装置の幅を減じた値の 1.2 倍以上
- c. 使用予定航空機の投影面の幅から降着装置の幅を減じた値の 1.5 倍以上
- d. 使用予定航空機の投影面の幅から降着装置の幅を減じた値の 2 倍以上